

(報告事項) 自己改革取組宣言

これまでも、これからも、地域とともに
JAささかみは『総合事業』を展開します

- 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組みます。
- このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
- そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能です。

いわば、農業者と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

総合事業体として「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けた主な取り組みを紹介します。

1. 生産コスト低減に向けた取り組み

農業振興計画に基づき、安価の肥料の提案や資材価格低減策（直送・自己取りと予約注文の奨励）を活用し生産コストを低減します。

2. 園芸振興の取り組み

農業者所得向上のため、水田における園芸生産の拡大を目標に機械化一貫体制整備によるえだまめの作付を推奨、産地化を目指します。

3. 農産物の消費拡大に向けた取り組み

消費者に食の大切さや地域農業、JAへの理解を深めるための情報発信に努め、安全、安心なささかみの農産物、加工品の魅力を伝えます。